

令和4年度 小・中学校人権教育研修A（人権教育総論、同和教育、指導方法等） 実施要項

- 1 目的 部落差別解消推進法を踏まえ、差別の解消に向けて、同和教育をはじめとする人権教育の現状と課題及び取組みについて認識を深め、児童生徒が人権問題を自らの課題とし、解決に向けた行動につなげるための人権学習（同和問題）の在り方について学び、具体的な取組みについて考える。
- 2 対象 小・中学校、義務教育学校の教職員 各市町村2名以上
※受講申込時に、第2回の分科会番号を第2希望まで記入すること

3 内容等

| 回 | 日時 | 内容 | 講師等 |
|---|-------------------------------------|--|--------------------------------------|
| 1 | リアルタイム開催 6月27日（月） 14:00～17:00 | 大阪府における人権教育の現状と課題 人権教育・同和教育の在り方について学ぶ 〔講義・講演〕 | 大阪府教育庁 指導主事等 関西大学 教授 内田 龍史 |
| 2 | 7月8日（金） 14:00～17:00 | 同和問題に関する人権学習の具体的な展開 分科会1（入門編） 偏見と差別 分科会2（実践編） 歴史 分科会3（実践編） 仕事・労働・進路 〔講義・実践発表・演習〕 | 大阪府教育センター 指導主事等 府内小・中学校教職員 |

- 4 会場 第1回 所属校等

第2回 大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話06-6692-1882）

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m
JR阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

- 5 担当室 人権教育研究室

- 6 その他
- (1) 受付は30分前から。
 - (2) 来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること。
 - (3) 自家用自動車・バイク等は大阪府教育センターに駐車できません。
 - (4) 事前に準備しておく事項があるので、シラバスを必ず確認すること。
 - (5) Web開催（オンデマンド開催、リアルタイム開催）の場合、研修対応ポータルサイトの実施マニュアルを参照すること。

令和4年度 小・中学校人権教育研修A（人権教育総論、同和教育、指導方法等） シラバス

1 目的

部落差別解消推進法を踏まえ、差別の解消に向けて、同和教育をはじめとする人権教育の現状と課題及び取組みについて認識を深め、児童生徒が人権問題を自らの課題とし、解決に向けた行動につなげるための人権学習（同和問題）の在り方について学び、具体的な取組みについて考える。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

| OSAKA 教職 スタンダード | 共通の指標 | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|-------|---|---|----|---|---|-----|---|---|----|----|----|----|----|----|
| | I | | | II | | | III | | | IV | | | V | | |
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 第4期 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第3期 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第2期 | ○ | | | | | | | | ○ | | | | ○ | | ○ |
| 第1期 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第0期 | | | | | | | | | | | | | | | |

3 研修課題とねらい等

| 回 | 研修課題 | ねらい | 内容 | 準備物・事前課題 |
|---|--------------------------|---|---|---|
| 1 | 大阪府における人権教育の現状と課題 | 大阪府内の子どもたちの現状をふまえ、人権教育推進上の重点課題について理解する。 | 人権教育の現状や課題及び、推進に向けた国及び大阪府の施策について講義から学ぶ。 | 準備物 「部落差別の解消の推進に関する法律」を読んでおく。 ⇒ ダウンロード |
| | 人権教育・同和教育の在り方について学ぶ | 生活の中にある人権課題を解決できる力を育む人権教育・同和教育の在り方について学ぶ。 | <ul style="list-style-type: none"> 講演を通して、人権問題を自らの課題とした上で、解決できる力を育む人権教育・同和教育の在り方について学ぶ。 研修を通して理解した必要な観点をもとに同和問題の現状や歴史的経緯等を踏まえ、自校の取組みについて振り返る。 | |
| 2 | 分科会1 差別と偏見に関わる人権学習 | 差別と偏見をテーマとした同和問題に関する人権学習の取組みをどう進めるかについて考える。 | <ul style="list-style-type: none"> 人権問題を自らの課題とし、解決できる力を育むため、分科会ごとにそれぞれのテーマで、同和問題に関する人権学習にどう取り組むのかについて学ぶ。 研修を通して理解した必要な観点をもとに自校の現状を振り返り、今後の具体的な取組みについて考える。 | 事前課題 教職員人権研修ハンドブックQ20を読んでおく。 |
| | 分科会2 歴史に関わる人権学習 | 教科書記述をもとにした歴史学習において、同和問題に関する人権学習をどう進めるかについて考える。 | | |
| | 分科会3 仕事・労働・進路に関わる人権学習 | 仕事・労働・進路をテーマとした同和問題に関する人権学習をどう進めるかについて考える。 | | |